

淀川広域避難タイムライン目的と方針

淀川の氾濫が発生し得る想定最大規模の降雨となった場合には、芥川等の各支川の氾濫や土砂災害の発生など複合的な災害となるおそれが高いことから、市民の広域避難に対する体制やリードタイム（避難時間）を確保するなど、先を見越した対応が必要となる。

防災関係機関との連携が極めて重要となることから「多機関連携型」と市内の災害対策本部各対策部の防災行動を整理した「市内連携型」淀川広域避難タイムラインを策定する。

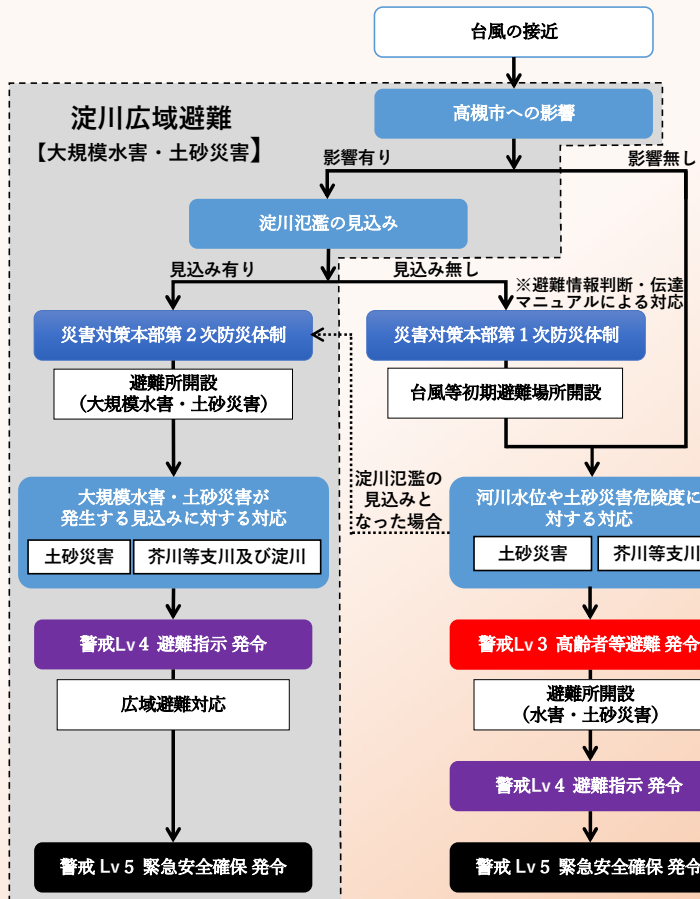
<タイムラインとは>

災害が発生することを前提に、災害時に発生する状況を予め想定し、「いつ」「誰が」「何をするか」について、実施主体や防災行動を時間軸に沿って整理した計画

淀川広域避難の判断フロー

台風接近時には下図のフローに従い、淀川広域避難対応について判断する。

水害・土砂災害対応判断フロー



災害シナリオ

淀川広域避難（大規模水害・土砂災害）時における時間軸と時間区分

時間軸	5日前～3日前	3日前～2日前 (-72時間～-48時間)	2日前～1日前 (-48時間～-24時間)	0時間	6時間後	24時間後
市の防災体制	情報収集期 警戒体制	災害準備期 災害対策本部第2次防災体制	災害警戒期 災害対策本部第2次防災体制 【広域避難対応（大規模水害・土砂災害）】	応急対策期		
避難情報等	特別警報級台風接近のおそれ	大規模水害・土砂災害のおそれ発表 対象避難場所開設	警戒レベル4 避難指示 （大規模水害・土砂災害） ※警戒レベル3を含めて、前倒して発令	警戒レベル5 緊急安全確保 支川（芥川等） 淀川		
気象の状況	台風接近の予測 早期注意情報 発表 （警報級の可能性）	大雨注意報 洪水注意報	大雨警報（浸水害・土砂災害） 洪水警報 土砂災害警戒情報	台風が近畿地方に最接近 大雨特別警報（浸水害・土砂災害）		
降雨等の状況	弱い雨	やや強い雨	激しい雨	強い雨		
河川等の状況	支川（芥川等） 【平常水位】	支川（芥川等） 【平常水位】	支川（芥川等） 【やや水位上昇】	支川（芥川等） 【水位急上昇】	支川（芥川等） 【氾濫発生】	淀川 【氾濫発生】
(水位イメージ)					支川（芥川等）氾濫	淀川氾濫

情報収集期【芥川等の支川、淀川氾濫発生のおそれ5日～3日前】

- ◆ 配備体制を通常体制から警戒体制に移行
- ◆ 気象庁が発表する台風の規模や進路予想、早期注意情報などを注視
- ◆ 淀川氾濫の見込みがある場合は、淀川広域避難（大規模水害・土砂災害）対応への移行を検討

災害準備期【芥川等の支川、淀川氾濫発生のおそれ3日前～2日前】

- ◆ 淀川の氾濫が想定される場合、「広域避難（大規模水害・土砂災害）対応」へ移行（災害対策本部第2次防災体制）
- ◆ 早期避難を市民に促すため、台風接近に伴う「大規模水害・土砂災害のおそれ」を発表し、対象となる避難場所を開設
- ◆ 広域避難対応（市営バスによる避難者バス輸送等）の準備

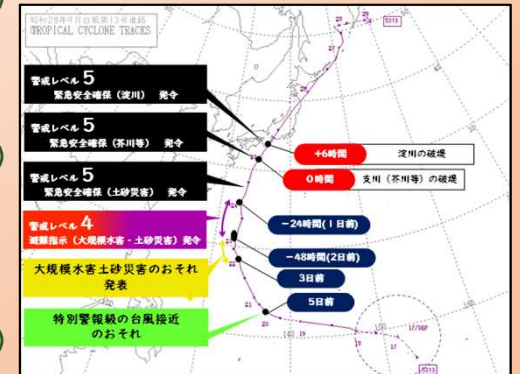
災害警戒期【芥川等の支川、淀川氾濫発生のおそれ2日前～1日前】

- ◆ 警戒レベル4 避難指示（大規模水害・土砂災害）」を発令
- ◆ 車両の利用抑制を呼びかけ、徒歩避難又は市営バスによる広域避難を促す
- ◆ 市営バスによる指定避難場所への避難者輸送を開始

応急対策期【芥川等の支川氾濫発生のおそれ0時間～24時間後】

- ◆ 各河川の水位が急上昇し、氾濫が発生
- ◆ 芥川等の支川が氾濫した場合、「警戒レベル5 緊急安全確保（芥川等）」を発令
- ◆ 支川氾濫の約6時間後には淀川が氾濫、「警戒レベル5 緊急安全確保（淀川）」を発令
- ◆ 淀川の氾濫後は、浸水状況に応じ、救護・救出活動をはじめ、応急対策、避難者・被災者支援を実施

台風進路想定図



淀川広域避難タイムライン（大規模水害・土砂災害）

- 多機関連携型タイムライン 本編P19～P23参照
- 市内連携型タイムライン 本編P25～P29参照

タイムラインの検証

平時から災害タイムラインを活用した防災訓練等や実災害時のふりかえりを実施し、継続的にタイムラインの改善・充実を図る

今後の取組方針

- 取組方針1 淀川広域避難の実効性を確保
- 取組方針2 淀川広域避難に対する市民への周知及び理解促進
- 取組方針3 訓練等による自助・共助、公助の連携